



日本の宝島“天草”の創造を目指して！

市政だより

AMAKUSA
天草



「桜の樹の下で花見を楽しむ“金比羅神社祭”」

4月5日、桜の花びらが舞い散る中、五和町二江の西三区で金比羅神社祭が金比羅公園で開催されました。この祭は、毎年4月の第1日曜日に開催され、区民総出でカラオケで歌ったり踊ったりしてたいへん賑わい、地域の交流の場となっています。この公園は高台にあり、二江の漁村の町並みや対岸の島原半島や雲仙普賢岳が一望できます。

主な内容

- 平成21年度 施策と予算 2～9
- 議会報告 10～11
- 消費者月間 12～13
- 介護支援ボランティア事業 14
- 本市出身・小山薫堂さん「天草市民栄誉賞を受賞」..... 15
- 宝島の話 16～19
- みんなの広場 20～23

平成21年

5

1

No.74

施策と予算

平成21年度の当初予算が、第1回市議会定例会で決まりました。『日本の宝島「天草」の創造』をまちづくりの基本理念とする第1次天草市総合計画の着実な推進に向けて、「豊かな産業づくり」「魅力ある観光地づくり」など6つの重点事項を掲げ、予算を編成しています。

今月号では、平成21年度の施策と予算、主な事業について紹介します。（※金額は万円未満を四捨五入。構成比や予算額については千円単位での取り扱いですので必ずしも一致しません。）

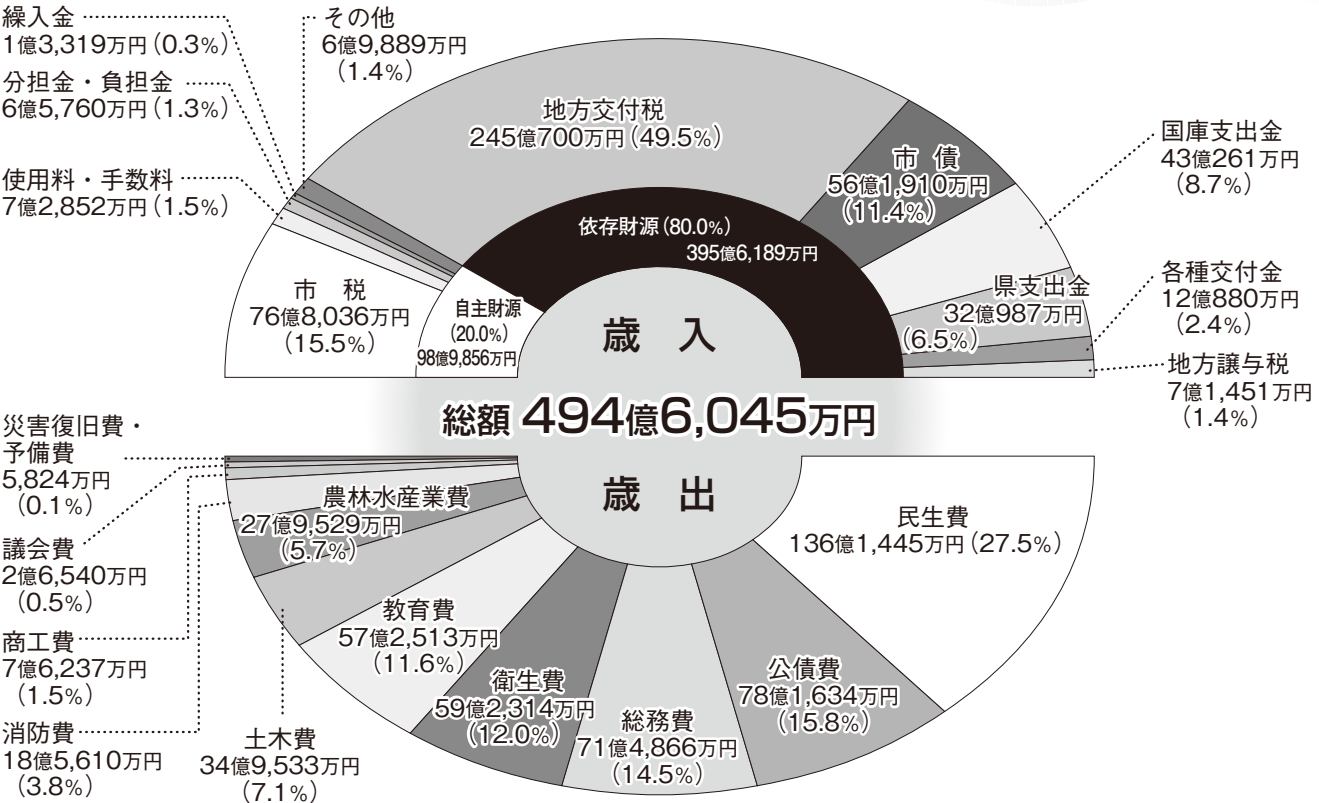
一般会計

一般会計の予算額は494億6,045万円で、前年度と比べると716万円の減少で、ほぼ同額の予算になっています。

歳入は、市税や使用料・手数料など、市が自主的に収入できる「自主財源」と、地方交付税や国・県の支出金、国や金融機

関などから借り入れる市債などの「依存財源」に分けられます。平成21年度の自主財源は、98億9,856万円で、歳入総額に占める割合は20・0％（前年度23・7％）となっています。一方、依存財源は395億6,189万円で、歳入総額に占める割合は80・0％（同76・3％）となっています。※一般会計予算の内訳は下グラフのとおりです。

◆一般会計予算の内訳



歳入

歳入は、市税や使用料・手数料など、市が自主的に収入できる「自主財源」と、地方交付税や国・県の支出金、国や金融機

関などから借り入れる市債などの「依存財源」に分けられます。平成21年度の自主財源は、98億9,856万円で、歳入総額に占める割合は20・0％（前年度23・7％）となっています。一方、依存財源は395億6,189万円で、歳入総額に占める割合は80・0％（同76・3％）となっています。※一般会計予算の内訳は下グラフのとおりです。

合を占めているのは民生費（27・5％）です。民生費とは、お年寄りや障がいのある人に対する福祉の充実、子育て環境の充実などに使われる費用です。

これに続いて、公債費、総務費、衛生費、教育費、土木費の順になっています。

項ごとに分けて紹介しています。

特別会計

なお、4～9ページで主な事業とその予算額を6つの重点事

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計の歳入歳出と区分して会計処理をするために設置するもので、その設置は法律や条例で認められています。

本市では、国民健康保険や老人保健医療、介護保険、公共下水道事業など17の特別会計を設けています。

※それぞれの予算額は上表のとおりです。

企業会計

企業会計は、商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置しているものです。

本市では、病院事業と水道事業を企業会計で処理しています。※それぞれの予算額は上表のとおりです。

◆特別会計の予算額

区分	平成21年度	前年度比較	増減率
国民健康保険	145億6,600万円	6億2,595万円	4.5%
老人保健医療	1億7,933万円	▲13億9,492万円	▲88.6%
介護保険	91億2,076万円	3億4,183万円	3.9%
後期高齢者医療	12億208万円	▲1,518万円	▲1.2%
公共下水道事業	13億7,949万円	▲4億5,033万円	▲24.6%
特定環境保全公共下水道事業	7億8,871万円	2億4,480万円	45.0%
農業集落排水事業	5,563万円	▲798万円	▲12.5%
漁業集落排水事業	4億3,702万円	▲5億9,047万円	▲57.5%
浄化槽市町村整備推進事業	1億6,668万円	▲2,037万円	▲10.9%
簡易水道事業	24億2,480万円	3億1,950万円	15.2%
国民健康保険診療施設	1億8,869万円	445万円	2.4%
歯科診療所	4,558万円	▲34万円	▲0.7%
埠頭事業	1,452万円	▲10万円	▲0.7%
斎場事業	1億2,680万円	1,512万円	13.5%
一町田財産区	312万円	▲8万円	▲2.5%
新合財産区	68万円	▲5万円	▲6.5%
富津財産区	12万円	▲3万円	▲20.1%
合計	307億2万円	▲9億2,820万円	▲2.9%

※▲＝マイナス

◆企業会計の予算額

区 分		平成21年度	前年度比較	増減率
病 院 事 業	収益の収入	37億1,259万円	1億9,379万円	5.5%
	収益の支出	37億1,259万円	1億9,379万円	5.5%
	資本の収入	1億6,188万円	▲8,919万円	▲35.5%
	資本の支出	3億1,632万円	▲8,487万円	▲21.2%
水 道 事 業	収益の収入	14億8,664万円	▲3,039万円	▲2.0%
	収益の支出	14億5,817万円	▲3,375万円	▲2.3%
	資本の収入	7億3,629万円	2億9,019万円	65.0%
	資本の支出	14億9,762万円	2億1,824万円	17.1%

※▲＝マイナス

施策と主な事業を紹介！

第1回市議会定例会の冒頭で、安田市長が平成21年度の施政方針を表明しました。今回、施政方針の概要を6つの重点事項ごとに分けて紹介します。また、併せて主な事業とその予算額についてもお知らせします。
（※金額は万円未満を四捨五入）

1 豊かな産業づくり

現在の厳しい経済状況の中で、新たな雇用を創出する大きな柱は、農林水産業であると考えています。将来に夢を持つて働くことができる、活力ある天草市を築いていくため、農林水産業をはじめ各種産業の振興に努めるとともに、厳しい状況ですが、企業誘致などにも積極的に取り組みでいきます。

農業については、優れた農産品を天草ブランドとして全国展開を行い、生産・流通の拡大を図る一方、多品目の農産物は地産地消を推進し、消

費拡大を進めることにより、農家経営の安定、所得の向上を図ることが極めて重要です。すでに全国的な流通が展開されている、デコポンをはじめとした柑橘類に加え、天草緑竹、マンゴーなどを、物産展などを通じてPRを行い、市場の開拓とブランド化を推進していきます。

地産地消については、「あまくさ型地産地消推進事業」により、消費者、農家、農協などによる協議会を設置し、検討を進めるほか、市内小・中学校の児童・生徒を対象に



▲神戸空港で実施した天草観光物産展

した農業体験や料理体験などを通じて、地元農産品の安心・安全などの啓発活動を行う「あまくさ型地産地消体験活動推進事業」を新たに実施します。

農業生産の基礎となる基盤整備については、ほ場整備を計画的に実施するほか、施設

園芸の推進、用・排水路や農道などの維持管理を支援していきます。

また、農作物に甚大な被害をおよぼしているイノシシの対策については、有害鳥獣捕獲報償金と防護柵設置補助金を引き上げ、これまで以上に被害防止と捕獲活動を積極的に支援していきます。

都市と農村の交流については、交流人口の拡大による地域活性化を目指して取り組んでおり、短期・中期滞在型の体験ツアーを実施するほか、空き家バンクを充実させ、U・J・Iターン希望者への情報提供を積極的に行っていきます。

林業については、水資源のかん養や地球温暖化対策などの公益的機能の充実を図るとともに、林業経営者の生産や販売の安定に寄与するため、生産性の向上と天草産材の需要拡大を図っていきます。

水産業については、水産資源の回復を図るため、県や漁協と連携し、マダイ、ヒラメ

- 有害鳥獣捕獲対策事業（鳥獣による農林生産物被害などの防止のため、捕獲報償金、箱わな購入や防護柵設置費用の補助等を行う）……………6,095万円
- マグロ稚魚（ヨコワ）採取試験操業事業（マグロ養殖の種苗供給のため、ヨコワ採取の試験操業を実施する）……480万円
- 天草ブランド策定事業（「天草観光物産展」や「天草ブランド商談会」の開催、並びに天草産商品のPRを行う）……………344万円
- あまくさ型地産地消推進事業（農産物などを地産地消の観点で推進するための、あまくさ型地産地消推進協議会〔仮称〕の運営費を助成する）……………150万円

などの種苗放流を推進し、資源管理による持続可能な漁業の推進に努めるほか、魚類養殖業では、漁場環境の保全、赤潮対策や魚病対策を講じるとともに、本市の産業振興の起爆剤として期待が寄せられています。マグロ養殖についても、支援を行っています。

2 魅力ある観光地づくり

実施するとともに、高潮や老朽化などで機能低下が進行している漁港海岸の海岸保全施設の機能強化を図っていきます。

商工業については、まずは、雇用不安を抱えている市民の皆様に対して、緊急雇用対策事業などを積極的に実施するとともに、経済関係の機関・団体と連携した地場企業の支

援、ターゲットを絞った企業誘致に、なお一層取り組み、雇用の場の創出に努めていきます。

また、平成23年春の九州新幹線全線開業を見据え、沿線主要都市での「天草観光物産展」や商談会を開催し、天草ブランドの確立と新たな顧客の確保、販路開拓を進めていきます。

また、天草の魅力ある観光資源を広く紹介し、観光客の拡大を図るため、「社団法人天草宝島観光協会」と連携を取り、戦略的に観光キャンペーンを展開していきます。特に、現在建設中の「天草キリシタン館」は、文化施設としてだけでなく、観光面でも中核となる施設であり、平成22年4月の開館に向けて、P

地域経済の活性化や雇用の場の創出など、観光はすそ野の広い総合産業であり、天草をさらに魅力ある観光地としていくことは、きわめて重要であります。

観光地が広域的に連携し、国内外の観光客が2泊3日以上滞在できるエリアの整備と形成を旨とし、昨年7月「観光圏整備法」が施行されましたが、天草市では、天草地域と雲仙・島原地域を観光圏とする「雲仙天草観光圏整備計

Rを行っています。

さらに、日本で最初に海中公園の指定を受けた「牛深海中公園」は、本市の重要な観光資源です。運行休止となっていますが、「牛深海中公園」のグラスボートについては、運行再開への支援を行うとともに、平成23年春の九州新幹線全線開業に向けて、鹿児島から牛深地域への交通アクセス連携の調査を行っています。

3 快適な生活環境づくり

住みよい環境、健康で生きがいを持ち、ゆとりと潤いのある生活、私たちが心豊かに生活するうえで基本となる、快適な生活環境づくりを推進するため、次のような施策を展開していきます。

まず、公共交通対策については、市民の皆様の生活、福祉向上のため、利便性の高い

公共交通機関の確保や整備が必要です。中でも路線バスは、年々利用者が減少し、市の負担も増加している状況から、平成20年度に天草市地域公共交通連携協議会を設置し、再編計画を策定しました。この計画に基づき、平成21年度から3年間で再編に取り組んでいきますが、市民の交通手段

として、利便性の高い公共交通の維持に努めていきたいと考えています。

水道事業については、窓口・徴収業務などを民間に委託し、市民サービスを維持しながら、水道事業の経営効率化を図ります。水道施設などの整備については、安全で上質な水の安定的供給を図るため、計画的な施設の更新と、水道未普及地域の解消に向けた計画的な事業着手、早期完

成に努めるとともに、牛深・河浦地域への水の安定供給のため、路木ダム建設をなお一層促進していきます。

また、平成21年10月をめどに、水道料金体系の統一や改定を行い、負担の公平性の確保と水道財政の健全化に取り組んでいきます。

公営住宅については、新和雇用促進住宅を購入し、市営住宅として、引き続き住宅ニーズに対応していきます。また、地震による建築物の揺れやすさを紹介する、地域地震防災マップを作成し、防災意識の普及・啓発に取り組みます。

消費生活の支援については、商品購入をめぐるトラブルや多重債務など、消費生活問題が増加しているため、消費生活センターを設置し、相談員を増員して相談業務を強化するとともに、各種啓発活動にも力を入れていきます。

人間の幸せの原点は健康にあります。健康に対する自己決定力を高め、個人の健康の保持・増進に取り組みやすい地域社会を形成していくとい

う、ヘルスプロモーションの考え方に基づき策定した「天草市健康増進計画」や「天草市食育推進計画」に基づき、保健事業を展開していきます。

平成20年度から実施しています、メタボリックシンドロームに着目した『特定健診・特定保健指導』については、受診者数の拡大に努め、生活習慣病の予防、しいては、医療費の節減につながるよう取り組んでいきます。

母子保健については、妊婦健康診査の健診費用の補助回数を5回から14回に増やし、妊娠・出産にかかる経済的負担の軽減と、母子の健康保持



▲生活習慣病の予防を目的とした健康運動教室を実施

を図っていきます。予防接種については、あらたに、乳幼児や小・中学生のインフルエンザ予防接種に補助を行い、保護者の経済的負担の軽減と重症化やまん延の防止に努めていきます。

また、新型インフルエンザの発生が世界的に危ぐされる中、平成20年度、「天草市健康危機管理対策本部」を設置し、「天草市新型インフルエンザ対策行動計画」を策定しました。今後、この行動計画を基に対応マニュアルなどを作成し、市民の安全・安心を守るため、県や関係機関と十分に連携を図り、より効果的な対応が取れるよう、体制を整備していきます。

医療体制については、「市民が必要とする医療を提供し、市民に信頼される病院・診療所を旨ざす」ことを基本理念とする「市立病院改革プラン」に基づき、病院事業の経営形態を、地方公営企業法の全部適用へ移行するための体制作りを行うとともに、医師の確保対策の強化、経営健全化のための収益の確保と経

費節減に取り組んでいきます。

福祉については、「天草市地域福祉計画」や「天草市地域福祉活動計画」に基づき、市民・社会福祉協議会・行政の連携による「地域福祉ネットワーク事業」をさらに推進し、地域住民がお互いに地域で支えあう、地域における福祉活動の実践や基盤づくりを推進していきます。

障がい者福祉については、「天草市障がい者福祉計画」の見直しを行い、障がいを持つ人が地域の中で安心して暮らせるよう、更なる福祉サービスの充実に努めていきます。

高齢者福祉については、高齢者の皆さんが、健康で安心して在宅生活をしていただくため、地域見守りネットワークの構築や高齢者支援センターの活用を推進するとともに、介護予防事業や地域密着型サービスの充実を図っていきます。

また、外出の機会が少ない人を対象に、外出支援事業を

透しつつあります。今後は、

さらなる住民自治の組織強化を図るため、引き続き視察研修の実施や地域づくり講演会などを開催し、地域を担うリーダーの養成・確保に努めていきます。

また、地域づくり担当職員は研修の実施などにより、地域活動のサポート役としての資質向上に努め、地域づくり活動を支援していきます。

自治組織と行政とが手を携えて、地域の課題解決にあたるとともに、地域づくりに対する行政としての支援のあり方を模索しながら、これから

も「市民と行政の協働による

まちづくり」を推進していきます。

男女共同参画社会の実現については、「天草市男女共同参画計画」に基づき、女性リーダーの育成や市の審議会などにおける女性委員の登用などに努めるとともに、市民・事業所などの理解をより深めるため各種啓発事業を展開し、すべての人が共に生きる社会づくりを進めていきます。

教育については、事務の管理や執行状況の点検評価を行い、教育委員会の責任体制の明確化と教育における地方分権の推進を図っていきます。

また、教育懇談会などを通して、保護者や地域住民の皆様の意向を、なお一層教育行政に反映させるよう努めていきます。

学校教育については、信頼され、開かれた学校づくりに今後とも取り組むとともに、学校訪問指導の計画的な実施や、研究指定校としての研究成果の全学校への普及などに

- 防犯灯維持整備事業（通学路や地域住民の生活安全の確保のため、防犯灯の整備・維持管理に努める）……………4,313万円
- 共聴施設整備事業（地上デジタル放送への移行に伴い難視聴地域の解消を図るため、共同受信施設の整備を行う共聴組合に対し、整備に係る費用の一部を助成する）……3,906万円
- 緊急通報体制整備事業（一人暮らしの高齢者などの自宅と消防署を直結し、24時間体制で緊急時に対応する）…1,264万円
- 地域福祉ネットワーク事業（小地域を単位として、各関係機関・行政機関と連携を図り、地域住民による自主的な活動やネットワークづくりを推進する）……………300万円

はじめ生きがいデイサービス事業・配食サービス事業などを推進するほか、あらたに高齢者の方みずからが、介護保険施設などでボランティア活動を行う「介護支援ボランティア制度」を創設し、地域貢献活動を通じて、自身の介護予防と生きがいづくり、社会参加を推進していきます。

子育て支援については、平成20年度に実施した子育て支

援のためのニーズ調査を基に、「天草市次世代育成支援行動計画 後期計画」を策定し、子どもが、心身ともに健やかに育つための環境整備を推進し、子どもたちの健全育成や子育て家庭の支援などの充実を図っていきます。

防災については、自主防災組織の育成支援や消防関係資機材の整備、防火水槽の設置を進め、地域消防力の維持に努めるとともに、地域における災害への備えの強化や災害時の避難など、自主的な行動を支援するため、市内各地域のハザードマップを作成・配布し、被害の軽減を図ってい

きます。

芸術や文化は、私たちの心を豊かにし、ゆとりと潤いを与えてくれます。「文化の薫るまちづくり」を推進する文化振興につきましては、「文化振興計画」や「全島博物館構想計画」に基づき、自主的で多様な文化活動が行われるよう環境整備を推進していきます。

また、世界遺産登録の推進については、関係機関・団体と連携を取りながら、崎津教会や大江教会、その周辺集落の重要な文化的景観選定への申し出を行い、登録の実現に向け取り組んでいきます。

4 地域を担う人づくり

地域づくりの基本は、人づくりにあると考えています。市民一人ひとりが「地域の将来を見据え、自分たちの地域はみずからがつくる」という郷土意識を持ち、主体的に地域づくり活動に取り組んでいたことが、本市の振

興・発展につながっていきま

す。

「まちづくり協議会」と「地区振興会」が各地域に設立されて4年目を迎えます。各地域においては、さまざまな取り組みが行われ、住民主体の地域づくり活動が全市的に浸



▲天草の素材を生かした家庭料理の試食会を実施

より、学力の向上を図っていきます。

また、学習指導補助教員や学校司書を増員して配置することにより、きめ細やかな指導の充実、児童・生徒の読書活動の推進をさらに図っていきます。いじめや不登校問題に対しては、いじめ・不登校対策会議を中心とした取り組みの充実を図るとともに、ス

クールカウンセラーや教育相談員による適切な指導や支援を実施していきます。

学校規模の適正化については、「天草市学校規模適正化推進計画（仮称）」を策定し、この計画に基づき、保護者や地域の理解を得ながら、学校の適正配置を進めることで、教育効果の向上と教育環境の整備を図っていきます。

なお、有明地区の赤崎小学校と浦和小学校をこの4月に統合するほか、本渡地区の3中学校を統合して新設する本渡中学校は、平成22年4月の開校に向けて整備を進めています。

学校施設については、平成21年度で耐震診断を終え、耐震化対策や安全のための環境整備を計画的に実施していきます。

生涯学習については、「生涯学習推進計画」に基づき、市民がいつでも、どこでも、自由に、多様な学習機会の中から、選択して学べる環境づくりに努めていきます。

公民館事業については、各種講演会などを開催するな

ど、学習機会の拡充を図っていきます。

スポーツ振興については、「スポーツ振興計画」に基づき、市民が主体的にスポーツに関わり、心身の健全な発達と生涯にわたりスポーツを楽しむ、「総合型地域スポーツクラブ」の設立に取り組みます。また、第25回記念大会となる天草国際トライアスロン大会は、内容を充実し、市民の皆様さらに親しんでいた



▲平成22年4月に開校予定の新・本渡中学校（イメージ図）

だけるよう取り組んでいきます。

5 機能的な社会基盤づくり

九州西岸地域の交流拠点都市としての機能を発揮するためには、陸・海・空における交通体系の整備が不可欠であり、また、広大な市域を誇る本市の一体性を高めるためには、道路や情報通信網などの社会基盤の整備を図る必要があります。

平成23年春に九州新幹線が全線開業しますが、新たな人の流れを天草に呼び込むためにも、熊本天草幹線道路の重

要性が、ますます高まっています。

現在、熊本宇土道路や新天門橋を含む大矢野バイパスが事業着手されており、本渡区間についても、第二天草瀬戸大橋を含むルートの検討や環境調査が実施されていますので、早期事業着手に向けて、関係機関に引き続き強く要望していきます。

天草地域の振興・発展と、九州西岸地域の交流拠点都市としての機能を発揮するため

には、島原・天草・長島連絡道路などの整備促進は、切り離せない課題であります。「島原・天草・長島架橋建設促進期成会」の事務局として関係機関と連携し、国などへの要望活動などを積極的にを行い、早期実現に向け取り組んでいきます。

管内の道路整備については、下田南バイパスや御所浦架橋など国・県道の整備促進をはじめ、日常生活を支援する生活関連道路の改良や橋梁・トンネルの維持補修に取り組み、住民生活の利便性の向上に努めていきます。

海上交通については、「御所浦・水俣航路」の維持対策を引き続き支援するとともに、「倉岳―御所浦間みなと振興交流事業」により、棚底港の浮桟橋の新設や駐車場、待合所、臨港道路などを整備・改修するなど、利便性の向上と港の賑わいを目ざして取り組んでいきます。

「本渡・熊本航路」は、この3月で高速船マリンビュアが撤退し、「本

- 市道改良(単独)事業（大規模、小規模、災害防除の単独工事）……………3億7,160万円
- 天草エアライン機材整備費等緊急対策貸付金（緊急的に発生する機材不都合に伴う整備費用に対する貸付や運営資金に対する貸付を行うことで、安全・安心な運航を確保し、天草地域の振興を図る）……………2億5,000万円
- 浄南小松原線道路改良事業（老朽化の進んでいる昭和橋の架け替えを行う）……………1億3,000万円
- 携帯電話等エリア整備事業（地理的な条件や採算面から民間通信事業者の参加が難しい携帯電話不感地帯の整備を行い、情報通信格差の解消を図る）……………6,550万円

渡・三角航路」が新たに運行されており、市としても、多くの人にご利用いただくよう、PRなどに努めていきます。

天草エアラインについては、天草地域の振興や都市圏とをつなぐ架け橋として、なくてはならない公共交通機関であり、より安全で安心な運航を維持するため、平成19年度から、プロペラ整備などの重整備費用を、熊本県と地元

市町で協調して支援を行っています。しかしながら、機材、機材の経年劣化などによる整備費が、年々増え続けていることから、重整備費用に加えて、通常整備費用に対しても、平成21年度から新たに支援などをを行い、さらに、突発的な整備の発生や運営資金不足へ対応するため、本市独自で貸付金を創出したいと考えています。

情報化の推進については、公共施設を光ファイバーで結ぶ高速通信網の整備が、御所浦までの海底光ケーブル敷設工事を除き、本年3月末までに完成し、また、各種電算システムも、民間委託から天草市独自システムへの開発移行を行っています。これらを活



▲天草の地域振興や都市圏とつなぐ架け橋となる天草エアライン

6 環境と共生のまちづくり

国においては、昨年7月「低炭素社会づくり行動計画」が策定されました。これは、多くの環境問題の中でも、地球規模の問題となっています地球温暖化対策について、温室効果ガスの一つである、二酸化炭素の排出量が少ない産業・生活システムを構築しようとするもので、これを実現するために、国が取り組む事業、地方として取り組む事業などが行動計画として明記されています。

平成19年度に策定した「天草市バイオマスタウン構想」は、まさに地球温暖化防止や資源循環型社会の構築を旨とした行動計画であり、一般家庭の生ゴミ分別収集のモデル

事業、菜の花プロジェクトによるBDF燃料を民間企業に提供するモニタリング事業、さらに環境フェアの開催などに取り組んできました。

平成21年度は、バイオマスタウン構想の主要施策である「バイオマスセンター」の建設に向け、建設費用と将来的な財政負担、環境負荷などを考慮し、施設規模、建設用地などの最終的な市の方針の確立に取り組んでいきます。

そのためには、生ゴミ回収量の予測や、生ゴミ分別収集における各家庭についての課題、収集体制での課題などを検証する必要がありますので、本市人口の約10分の1を抱える五和町全域で、生ゴミ

分別収集のモデル事業を実施し、市民の皆様のご理解と意識啓発、今後全市的に取り組むにあたってのさまざまな課題解決に生かしていかたいと考えています。

また、太陽光発電システムの設置補助についても、国の普及促進と歩調を合わせ、引き続き取り組んでいきます。

天草市新火葬場については、関係地域住民の皆様方のご理解を得ながら建設に向け進めていきます。

下水道や浄化槽などの生活排水処理施設については、快適な生活環境を確保し、あわせて、海や河川の水質保全を図るうえで欠くことのできない社会基盤であり、天草市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、地域の実情に応じた整備を推進していきます。

豊かな自然景観や歴史的・文化的な景観は、私たちの生活に潤いをもたらすだけでなく、多くの人々をひきつける魅力を持っています。

本市は、昨年12月から景観法に基づく景観行政団体に移行し、あわせて「天草市景観条例」を施行しました。「日本」の宝島、天草の景観からの島づくり」を景観形成のテーマに掲げ、市民の皆様とともに、豊かな自然景観を守り、誇りある文化的景観を育み、風格ある都市景観を築き上げていくこととしています。

平成21年度一般会計予算など 68議案を議決

平成21年第1回市議会定例会が3月2日から22日間の日程で開かれ、天草市長及び副市長政治倫理条例の制定や歳入歳出の予算総額494億6、044万5千円とする平成21年度天草市一般会計予算など68議案がいずれも原案のとおり可決されました。また、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意され、同23日に閉会しました。

可決された議案

- ▼天草市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について——統計法の全部改正及び統計報告調整法の廃止に伴うもの。
- ▼天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について——政治倫理審査会委員の報酬の額の新設などを行うもの。
- ▼天草市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について——医師の初任給調整手当の額の上限を改めるもの。
- ▼天草市長及び副市長政治倫理条例の制定について——清浄で民主的な市政の発展に寄与するため、条例を制定するもの。
- ▼天草市出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について——出張所の位置を変更するもの。
- ▼市立病院等の経営の在り方等に関する審議会条例を廃止する条例の制定について——審議会の設置目的が達せられたため、条例を廃止するもの。
- ▼天草市市民憲章等審議会条例を廃止する条例の制定について——同。
- ▼天草市地区コミュニティセンタ

- 1 条例の一部を改正する条例の制定について——地区コミュニティセンターの新設、移転などを行うもの。
- ▼天草市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について——介護保険の保険料率を改定するもの。
- ▼天草市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について——介護従事者処遇改善臨時特別交付金の交付に伴い、基金を設置するもの。
- ▼天草市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について——印鑑登録及び登録事項の変更を行う際の市民の利便性の向上を図るもの。
- ▼天草市設置による倉岳町産業後継者等定住促進に関する条例の失効に伴う経過措置を定める条例を廃止する条例の制定について——産業後継者等定住促進助成金の交付が完了するため、条例を廃止するもの。
- ▼倉岳町産業後継者等定住促進対策事業基金条例を廃止する条例の制定について——基金の設置目的である事業が完了することに伴い、条例を廃止するもの。
- ▼天草市大江シルバーコミュニティ

- イセンター条例の一部を改正する条例の制定について——条文の整備を行うもの。
- ▼天草市水産研究センター条例の一部を改正する条例の制定について——同。
- ▼天草市漁村センター条例の一部を改正する条例の制定について——同。
- ▼天草市浄化槽市町村整備推進事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について——自治公民館を浄化槽市町村整備推進事業の対象となる建物とするもの。
- ▼天草市公民館条例の一部を改正する条例の制定について——公民館の新設などに伴うもの。
- ▼天草市体育館条例の一部を改正する条例の制定について——小学校の統合により廃校となる赤崎小学校の体育館を社会体育施設とするもの。
- ▼天草市運動広場条例の一部を改正する条例の制定について——同赤崎小学校のグラウンドを社会体育施設とするもの。
- ▼天草市社会体育夜間照明施設条例の一部を改正する条例の制定について——大浦グラウンドテニスコートなどを廃止するもの。

- ▼天草市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について——水道事業に係る給水人口や給水区域の見直しに伴うもの。
- ▼天草市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について——水道事業に係る給水区域の拡張に伴うもの。
- ▼指定管理者の指定について——栖本温泉センターの指定管理者の指定取消しに伴い、新たに指定管理者を指定するもの。
- ▼公有水面埋立免許に関する意見を述べることに伴う（2件）——市道立大多尾榎浦線の改良工事に伴うもの。
- ▼公有水面埋立免許に関する意見を述べることに伴う——国道324号の改良工事に伴うもの。
- ▼市道路線の廃止及び認定について——17路線を廃止し20路線を認定するもの。
- ▼工事請負契約の変更について（4件）——本渡中学校校舎建設（A～C工区建築）、同校体育館・武道場棟建設（建築）工事請負契約について、地盤改良工事に係る工事費の増額に伴い、契約金額を増額するもの。
- ▼平成20年度天草市一般会計補正

- 予算（第6号）——国の経済対策等や各事業費が確定したところなどにより、歳入歳出の予算総額に38億9、593万9千円を増額し、555億4、730万7千円とするもの。
- ▼平成20年度天草市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- ▼平成20年度天草市介護保険特別会計補正予算（第4号）
- ▼平成20年度天草市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ▼平成20年度天草市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号・第3号）
- ▼平成20年度天草市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ▼平成20年度天草市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- ▼平成20年度天草市浄化槽市町村整備推進事業特別会計補正予算（第1号）
- ▼平成20年度天草市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ▼平成20年度天草市国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第2号）
- ▼平成20年度天草市病院事業会計補正予算（第3号）
- ▼平成21年度天草市一般会計予算

- 歳入歳出の予算総額をそれぞれ494億6、044万5千円と定めるもの（平成21年度予算の詳細については2ページ、9ページを参照してください）。
- ▼平成21年度天草市国民健康保険特別会計予算
- ▼平成21年度天草市老人保健医療特別会計予算
- ▼平成21年度天草市後期高齢者医療特別会計予算
- ▼平成21年度天草市公共下水道事業特別会計予算
- ▼平成21年度天草市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
- ▼平成21年度天草市農業集落排水事業特別会計予算
- ▼平成21年度天草市漁業集落排水事業特別会計予算
- ▼平成21年度天草市浄化槽市町村整備推進事業特別会計予算
- ▼平成21年度天草市簡易水道事業特別会計予算
- ▼平成21年度天草市国民健康保険診療施設特別会計予算
- ▼平成21年度天草市歯科診療所特別会計予算
- ▼平成21年度天草市埠頭事業特別会計予算

- ▼平成21年度天草市斎場事業特別会計予算
- ▼平成21年度天草市一町田財産区特別会計予算
- ▼平成21年度天草市新合財産区特別会計予算
- ▼平成21年度天草市富津財産区特別会計予算
- ▼平成21年度天草市病院事業会計予算
- 議員提出——
- ▼天草市議会議員政治倫理条例の制定について——清浄で民主的な市政の発展に寄与するため、条例を制定するもの。
- ▼固定資産評価審査委員会委員の選任について（3件）——委員に次の皆さんを選任することに同意。赤石一馬氏（浜崎町12番33）、高濱みつ子氏（有明町下津浦1712番地）、松本直人氏（牛深町1084番地）。
- ※詳しいことは、本庁・総務課総務法制係 ☎11111 内線1214へお尋ねください。

同意された議案

困ったことはありませんか？

市では、本庁（別館）・商工観光課に消費生活相談員を配置し、商品購入に関するトラブルで困っている人や消費者金融会社などから多額の借金をかかえて悩んでいる人に対して、問題解決に向けてのアドバイスを行っています。

アポイントメント商法

【手口】

ざいます！景品が当たりました」「会って詳しい話がしたい」などと言って喫茶店や営業所に呼び出します。電話の段階では、販売目的であることは隠したままで出かけて行くと、案内とは何の関係もない商品やサービスの契約の話になる、というものです。

長時間説明することで、契約しないと帰れない雰囲気を作るなど、心理的に追い込まれ、契約をせざるを得ない場合も少なくないようです。

《对策》

内職・モニター商法

【参考】

何よりも仕事を始めるに当たって、商品を購入することが条件であるという契約には十分注意を払うことが重要になります。

惡質商法③

SF商法（催眠商法）

【参考】

悪質商法④

送りつけ商法

【参考】

商品を一方的に送りつけ、消費者に代金を請求する販売方法で、代金引換便を悪用するケースが多発しています。消費者は商品を受け取った以上、支払う義務があると思いますが、契約が成立していないので代金を支払う必要はありません。

品物が届いたら、その場で
すぐに受け取らず、家族など
に注文したか確認してから対
応しましょう。

悪質商法②

マルチ商法

【手口】

《对策》

によりマージン（利益）が得られるという仕組みです。マルチ商法では、有力販売の成功例などをセミナーなどで聞かされ、マージンという利益を目的に、ビジネスとして販売活動にのめり込む人も。

しかし、販売実績を上げようとして消費者金融から多額の借金を負い多重債務になったり、周囲の人間関係に悪影響がおよんだり、さまざま
な問題が生じています。

マルチ商法の場合、入会している人はその組織にのめり込んでしまった状態で、「怪しいのでは？」という周囲の意見にも耳を貸さないことが多いようです。しかし、思ったほど売れず、周囲を強引に

天草市庁舎 別館

天草川

天草駅

本戸公園

天草橋

至天草空港

至市役所

TAIYO



市消費生活相談員
はしの きみか
橋野 君佳

また、市では、消費生活に関するトラブルや多重債務などの相談に専門的に対応するため、同課に消費生活相談員を配置しています。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

介護支援ボランティア事業が始まります

市では、介護保険法に基づく介護予防事業の一環として、ボランティア活動を通して地域貢献や社会活動に参加することで、高齢者自身の介護予防を推進し、より元気にいきいきとした地域社会をつくることを目的に、介護支援ボランティア事業を開始します。

この事業では、65歳以上の高齢者が行ったボランティア活動に対して、年度ごとに1人あたり最高5,000円の介護支援ボランティア活動転換交付金または特産物などを交付します。

今月号では、同事業の登録方法の流れなどについてお知らせします。

ボランティア登録

- ▼対象Ⅱ市内に住所がある人のうち、介護保険第1号被保険者（65歳以上の人）で介護保険要支援認定者または要介護認定者でない人。
- ▼申込方法Ⅱ市社会福祉協議会各支所へ、介護保険証と印鑑を持参してお申し込みください。

主な活動の内容

- ①レクリエーションなどの参加支援補助。
- ②お茶出し、配膳、下膳などの補助。
- ③話し相手。
- ④誕生会などの行事の会場設営・補助。
- ⑤草取り、洗濯物の整理など施設職員とともに軽微かつ補助的な活動。

活動場所

活動場所は介護支援ボランティア

イア受け入れ機関として市に登録された特別養護老人ホームなどの介護保険施設等です。

なお、詳しい活動内容や時間などについては、各受け入れ機関により異なります。

※詳しいことは、本庁・高齢者支援課地域支援係 ☎ 1111 内線 1196 へお尋ねください。



登録から交付金を受け取るまでの流れ

1 ボランティア登録

市社会福祉協議会（管理機関）で登録し、ボランティア手帳を受け取る（5月7日から登録開始）。

2 ボランティア活動

市社会福祉協議会で、ボランティア活動を行う受け入れ機関（施設など）の紹介を受け、受け入れ機関と登録者が直接活動内容を調整し、ボランティア活動をする。

3 手帳にスタンプを押してもらう

受け入れ機関でボランティア活動をしたら手帳に「活動確認スタンプ」（活動1時間につき1スタンプ、1日最高2スタンプまで）を押してもらう。

4 評価ポイント活用の申請

評価ポイントを活用し交付金や特産物などの品物を受け取るには、市社会福祉協議会各支所に「評価ポイント活用申出書」に手帳を添えて提出する。

5 ポイントに応じて交付金などの交付

4の申請に基づき、評価ポイントに応じて交付金や特産物などが交付（ただし、介護保険料の未納がある場合は交付金などが支給されません）。

◆評価ポイントとは・・・

ボランティア活動で得た確認スタンプの数によって交換できるポイントです。

■交換できるスタンプの個数

- 10～19個＝1,000ポイント（1,000円相当）
- 20～29個＝2,000ポイント（2,000円相当）
- 30～39個＝3,000ポイント（3,000円相当）
- 40～49個＝4,000ポイント（4,000円相当）
- 50個以上＝5,000ポイント（5,000円相当）

ポイント協力事業者説明会を開催します

ポイントと交換する品物を、カタログに掲載のご協力をいただける事業者の説明会を開催します。

- 対象＝平成22年4月のポイント交換時期に確実に品物の納品ができる事業者
- とき＝5月11日（日）午後2時から
- ところ＝天草消防本部・3階コミュニティ室（市役所本庁舎となり）



映画「おくりびと」の脚本を手がけた 小山薫堂さん 天草に凱旋

～天草市民栄誉賞を受賞～



▲安田市長（左）から記念の盾が贈られました

4月13日、市役所本庁舎正面玄関前で、市民や関係者らが見守る中、第81回・米アカデミー賞外国語映画賞を受賞した映画「おくりびと」の脚本を手がけられた、本市出身の小山薫堂さんに、天草市で初となる「市民栄誉賞」が贈られました。

授与式で安田市長が「天草に生まれ育ち、アカデミー賞を受賞されたことは、市民はもとより子どもたちに夢を与えてくださった」などとお祝いの言葉を述べました。小山さんは「自分が持っている優しさは、天草の地で育まれたものだと思っている。今後は、天草のすばらしさを発信できるようにしたい」とお礼の言葉を述べられました。



▲本渡中学校で市の木「あこうの木」を植樹

小山さんは式典のあとの記者会見で「映画のオープニング出てくるのは天草を意識して書いている」とエピソードを披露。その後、母校の本渡中学校へ移動し、生徒たちと一緒に市のシンボルとして制定されたばかりの「あこうの木」の記念植樹を行いました。

また、同校で講演を行い、「これからいろんなチャンスがある。目標を見つけて努力することや意識すること。夢を抱くことが大切で、必ず人生はその方向に近づく。今の失敗が後で最高の結末につながる」などと語られました。



▲市長へ受賞報告に訪れた栢宇土小6年生の皆さん

国土交通大臣賞を受賞！

～マイタウンマップ・コンクール受賞報告～

3/26
本渡

3月14日、東京で開かれた「平成20年度マイタウンマップ・コンクール」で栢宇土小学校6年生が作ったホームページ（HP）「未来へ伝えよう栢宇土の自然・伝統・文化」が国土交通大臣賞を受賞しました。これは、地域の祭りや伝統文化、絶景スポットなどをHP形式で紹介するもので、「地域をていねいに調べている」とその取り組みが高く評価されました。亀子誠陽くんは「このHPがいろんな所に伝わればいいと思う」と話していました。

「シルバー消太賞」に輝く

～牛深少年消防クラブ～

3/27
牛深

3月27日、牛深少年消防クラブ（委員長・五十嵐 蒼さん）が全国の優秀な少年消防クラブに贈られる「シルバー消太賞」を受賞しました。同クラブは昭和56年に牛深小学校に創設されており、今回の受賞は救命法の研修や地域住民への広報活動など、地域に密着した活発な活動が評価されたものです。

同クラブの副委員長、松本美海さんは「貴重な体験ができた」と喜んでいました。



▲牛深少年消防クラブ（4・5・6年生）の皆さん

高原康幸さんが全国優勝！

～全国高校ウエイトリフティング選抜大会～

3/28
天草

3月28日、石川県金沢市総合体育館で開催された「第24回全国高校ウエイトリフティング選抜大会」の男子77kg級に出場した、天草高校天草西校3年の高原康幸さんが見事優勝しました。

高原さんは、自己記録を更新しての優勝で「今までの練習で自信がつき、大会に気負うことなく臨めました。まだまだ力をつけ、昨年3位だった全国高校総体（インターハイ）でも優勝します」と語っていました。



▲114kgのバーベルを持ち上げる高原さん

みんなで楽しくウォーキング！

～御所浦北地区ウォーキング大会～

3/29
御所浦

3月29日、「御所浦北地区ウォーキング大会」が横浦島で開催されました。これは、御所浦北地区振興会が健康増進と地域内の交流を目的に開催しているもので、当日は肌寒い中にもかかわらず約100人が参加し、1周約5kmの横浦島一周など4つあるコースの中から1つを選び、元気にウォーキングを楽しみました。終了後には賞品が当たる抽選会やぜんざいを食べ、春の息吹を感じながら楽しいひとときを過ごしました。



▲横浦島1周コースを元気に歩く参加者たち



ふるさとに思いを込めて絵馬づくり

～島子地区振興会思い出づくり事業～

3/15
有明

今春、高校を卒業した島子小の同窓生17人が3月15日、島子公民館でふるさと“島子”への思いを絵馬に書き込みました。これは、就職や進学などで故郷を離れる卒業生に、ふるさとへの思いを残してもらおうと同地区振興会が昨年度から実施しているものです。当日は、卒業生1人ひとりが絵馬を製作し、「島子ってよかっばなん」などとふるさとへの思いを記しました。絵馬は、お盆やお正月などの帰省シーズンに同公民館前のフェンスに掲示されます。



▲ふるさと“島子”への思いを絵馬に書いた同窓生

日ごろの感謝の気持ちを届けたい

～栖本中学校「花のまごころ便」～

3/19
栖本

3月19日、栖本中学校の生徒が手塩にかけて育てたパンジー（プランター8基）を、栖本支所に贈りました。これは、生徒会を中心に日ごろからお世話になっている人たちに、「花のまごころ便」と命名し感謝の気持ちを贈るというものです。

当日は、同校を代表して4人が栖本支所を訪れ、「大切に育てた花です。大事にいただけたらうれしいです。」と、はにかんだようすで語っていました。



▲「大事にしてください」と手渡す生徒たち

天草の農・漁業を体験

～春休み子ども自然学校～

3/25
新和

3月25日から同28日まで、新和みどりの村で「春休み子ども自然学校」が開かれました。今回は、県内外から小学生16人が参加。中田地区ではトラフグやマダイの養殖場でえさやりを体験し、威勢よく水しぶきを上げてえさを食べる光景に歓声をあげていました。また、地元の方の手ほどきを受けながら、田植えやアオサ採り、竹の子掘りなどに挑戦。参加した子どもたちは、豊かな自然に触れ春休みの楽しいひとときを過ごしました。



▲養殖場でのえさやり体験をする参加者

観光クルーズを兼ねた定期船登場！

～天草宝島ライン就航式～

4月1日、マリンビューに代わる定期航路として、(株)シークルーズが運航する定期船の就航式が本渡港で行われました。神事のあと、瀬崎秀輝社長が「高速船休止という事態だからこそ、何とか天草に貢献したかった」とあいさつ。最初の乗客となった神奈川県在住の浅野淳一さんは「昨年、観光でイルカウォッチングを体験してとても感動した。天草は都会にない自然がありとてもいいところ。次は、家族全員で訪れたい」と話していました。



▲三角港に向けて出港する「マリソル号」

8つの商工会がひとつに！

～「天草市商工会」開所式～

4月1日、本市の旧8町の商工会が合併した「天草市商工会」の開所式が、天草市商工会館（旧五和町商工会館）で役員など約80人が参加して行われました。同商工会は、平成19年7月に合併協議会を設置し、名称などの協議を行ってきました。各旧商工会（有明・御所浦・倉岳・栖本・新和・五和・天草・河浦）に支所を置き、会員数は1,238人。崎本会長は「心機一転、地域に貢献できるよう運営や業務にまい進していきたい」と抱負を述べられました。



▲開所を記念してテープカット

戦没者を慰霊し、世界の恒久平和を願う

～天草戦没者追悼式～

4月4日、戦争で尊い命をなくされた天草島内の戦没者の霊を慰めるために、天草市・上天草市・苓北町の2市1町合同による「第4回天草戦没者追悼式」が天草市民センターでしめやかに行われました。

追悼式には、戦没者の遺族など約400人が参列。戦没者之霊位に献花を行い、亡くなられた人たちに冥福をお祈りするとともに、二度と悲しみの歴史を繰り返すことのないよう、世界の恒久平和を祈念しました。



▲戦没者の慰霊と平和を願い献花

安心・安全な天草市へ！

～災害時応援協定等合同調印式～

4月6日、天草コミュニティ防災センターで「災害時応援協定等合同調印式」がありました。この協定は、市が大规模災害に見舞われたときに、物資の供給や災害情報の相互提供を行うもので、市と商工会議所など計8団体との間で結ばれました。安田市長は「市民の生命・財産の確保という点で今回の協定は心強い」と話し、協定を結んだ本渡商工会議所・錦戸会頭は「協定の理念、趣旨のもとで実効性あるものとなるよう努力したい」と述べられました。



▲安心・安全な天草市の実現へ向け固い握手

待望の橋の完成を祝う

～一町田橋完成式～

3/29
河浦

3月29日、一町田地区の中心に架かる一町田橋の完成式が行われました。同橋は、6年前に危険箇所が判明し通行止めになっていたもので、4月1日の開通に先立ち実施されました。神事のあと、参加した地区住民約200人が新しい橋の渡り初めを行いました。同地区の倉田清美さんは「橋が通れなくなって、買い物やお墓参り、隣の病院に行くのも回り道をしていました。立派な橋ができあがって本当によかったです」と語っていました。



▲完成した橋の渡り初めを行う地区住民の皆さん

農林水産物直売所がオープン！

～「天草とれたて市場」落成式～

4/4
本渡

4月4日、瀬戸町に農林水産物直売所「天草とれたて市場」がオープンしました。この直売所は、JA本渡五和とJAあまくさが共同出資して設立したJA直売天草が運営し、農林水産物直売所としては、市内はもとより、県内でも最大級の店舗面積があります。落成式典では、JA直売天草・川口代表取締役社長が「天草を全国に発信する拠点にしたい」と話されました。当日は、新鮮な野菜などを求めて、たくさんの買い物客でにぎわいました。



▲たくさんの買い物客でにぎわう店内

春の息吹を感じながら天草最高峰へ

～倉岳ウォークラリー～

4/5
倉岳

4月5日、10回目となる「倉岳ウォークラリー」が開催され、町内外から約290名が参加しました。倉岳小学校をスタートし、棚底の石垣群やコグリ、田植えに備えきれいに管理された棚田や約300本の桜を眺めながら天草最高峰「倉岳」までの8.5kmを、天草や倉岳に関するクイズなどを楽しみながら歩きました。山頂では、地元で捕れたイノシシを使ったシシ汁などが振る舞われたほか、お楽しみ抽選会なども行われ楽しいひとときを過ごしていました。



▲桜ロードの満開の花や山菜狩りで春を満喫

事故のない明るい地域を目ざして

～春の全国交通安全運動出発式～

4/6
五和

4月6日、五和地域交流センターおおくすで「春の全国交通安全運動出発式」が56団体、約200人が参加して行われました。オープニングでは、交通安全を願って鬼の城パーカッションキッズによる太鼓演奏が披露されました。

また、式典では新入学児童に黄色い帽子や傘、ランドセルカバーなどが贈られ、式典終了後には、パトカーを先導におおくすから五和支所までパレードを実施し交通事故防止を呼びかけました。



▲鬼の城パーカッションキッズの演奏のようす

みんなの 広場



市長随筆



進めたい 学校給食の地産地消

4月4日、JAあまくさ、JA本渡五和の共同による農林水産物直売所「天草とれたて市場」がオープンし、連日、大勢のお客さんでにぎわっています。

地元の農家で作られた新鮮な農産物を地元で消費する、このような取り組みを「地産地消」と言います。生産者の顔が見え、何より安心・安全

が大きな魅力で、物産館などの直売所とともに、学校給食での取り組みが、地産地消の大きな柱となっています。

大分県の臼杵市では、学校給食に使う野菜畑を「給食畑」と呼んで、地産地消に取り組んでいるそうです。一方、本

市の学校給食では、お米は93%が地元産ですが、野菜などは29%にとどまっております。今年度から、JAや消費者、学校給食関係者などの皆さんによる協議会を設置して、検討を行っていくこととしております。

学校給食では安定的に供給できること、調理のため大きなことが整っていることなど難しい問題もありますが、子どもたちが、地元の農業のことを知り、学んで、おいしく給食を食べている姿を思い描き、学校給食の地産地消を進めていきたいと思っています。

天草市長 安田 公寛



わ かっさい 若っ喝采

鶴岡豊大さん（御所浦町御所浦・29歳）

御所浦地区で家業のぶっきん（トラフグ）などの養殖をしています。趣味は、ゴルフと釣り。ゴルフは、月に最低1回はラウンドしていて、ストレス発散になります。釣りは、今の季節、タイをよく釣っています。大物が釣れたときの感触は格別です。去年は、9kgのタイが釣れたので、今年はそれ以上の大物を目ざします。



宝島の健康 よさ屋

みち のぶ
澤田道信さん
（楠浦町・98歳）

—— 毎日の楽しみは？
弓道のことを考えることです。今でも週に3回、中央公民館で行われる四

半的の練習に参加していて、自宅から公民館まで（片道約7km）は自転車です。毎週通っています。

—— 健康の秘訣は？

毎日1時間のウォーキングを心がけています。1時間に120歩を意識しながらやっていて、家族も追いつけないほどです。

年々体力は衰えてきていますが、今の生活リズムを維持しながら100歳を目ざしてがんばります。



元気に遊ぶ年長組の子どもたち

のびのび元気なしろはとっ子に！

しろはと保育園（牛深町）

しろはと保育園（部家浩一園長・全園児69人）では、恵まれた自然環境の中で、遊びを基本にのびのびと元気な身体の発達と心豊かな明るい子どもを目ざして、さまざまな活動に取り組んでいます。海や川遊び・山遊び・野菜作りなど自然に多く触れ、楽しい経験の中で、豊かな感性や判断力の育ちを身体で感じることで学んでいます。また、縦割り保育（週に1日）の経験をすることで、小さな子どもへの思いやりやかわいさを感じる愛情も育っています（年長組になったら！という期待感にもつながっています）。

4月から新園舎に移り大喜びで、のびのびと元気な「しろはとっ子」です。

自分のふるさとを 愛せる子どもに

杵宇土保育園（杵宇土町）

こんにちは、杵宇土保育園（全園児64人）の園長の脇山浩司です。自然に囲まれた園舎のまわりの田んぼでは、荒かきも終わり、カエルの大合唱が鳴り響いています。

さて、当園ではテレビを置かない代わりに、お昼寝前の時間に優れた絵本の読み聞か

せを行っています。絵本も食べ物と同じで、優れたものとそうでないものがあります。優れた絵本は、子どもの心にくめども尽きない喜びと生きる勇気を与えてくれます。「おくりびと」の小山薫堂さんは、子どもたちのころ、自転車に乗り、天草の自然を満喫して育ったそうです。あんなにも自分のふるさとを愛している彼のように、今の子どもたちにも育ってほしいものです。



絵本を読む先生の話に熱心に聞き入る園児



仲良く元気に遊ぶ全児童

分校は楽しいですよ！

一町田小学校第一分校（河浦町）
3年 坂井 祐斗

ぼくたちの学校は、一町田小学校第一分校です。天草では、ただひとつの分校だそうです。1年生5人、2年生4人、3年生2人の11人ががんばっています。

第一分校には、ここでしかあじわえない楽しいことがたくさんあります。5月には、本校（一町田小学校）の3年生をしょうたいして、小運動会をします。みんなでダンスやリレーをがんばります。夏休みには、お泊まりキャンプがあります。花火をしたり、きもだめしをしたりして、とても楽しいです。1月には、もちやき大会をします。おなかいっぱいおもちを食べられます。

みなさんも、ぜひ分校に遊びにきてください。

「有終の美を飾る」

本町中学校（本町）
3年 岡部 有哉

本町中学校は、生徒数63人で開校63年目を迎えました。緑に囲まれた木造校舎で、毎日充実した学校生活を送っています。先輩・後輩関係なく仲がよく、学校行事や部活動も協力してがんばっています。

また、天草養護学校との交流やボランティア活動も盛んで、地域の皆さんとも深く関わることができています。

残念なことですが、来年3月をもって本校は閉校し、本渡中、佐伊津中と統合します。母校がなくなるのは、寂しいことですが、最後の1年を有終の美で飾れるよう、また、本町中の生徒であったことを誇りに思えるよう「心一つ」にしていこうと思います。



「有終の美」を飾れるようにがんばります！

ぼくのわたしの学校生活



きら 煌めく人^{たち}

「両親と共に養殖業をしていきたい」

竹本 健吾^{けんご} さん（新和町中田・29歳）

新和町の中田地区でタイやブリなどの養殖業を両親と共に営んでおり、祖父の代から続いていて3代目になる。竹本さんは、高校を卒業後迷わずにこの仕事を選んだ。「ひたむきに取り組んでいる両親の姿を見て、家業を継ぐ」と決心した」と話す。

養殖の技術はかなり進歩しており品質は向上しているものの、依然として買い手側の取引価格は安く、生産者より買い手側の方が強いことを嘆くが、一番の心配は、不景気により魚の消費量が激減していること。「魚の良さを知ってもらい、一人でも多くの人に、もつとたくさん魚を食べてもらいたい」と訴える。

県内の養殖業者が全盛期に比べ半分近くに減っており、「このままでは10年後はもっとと少なくなってしまうのでは」と心配する。竹本さん自身、養殖だけでなく、漁に出ることを考えなければならぬと感じている。しかし、両親の姿を見てはじめて養殖の仕事、その魅力も知っており、「何事も前向きに考えて、両親と一緒にこれからも頑張っていきたい」と力強く語った。



永田 敬照^{けいしょう} くん・凌誠^{りょうせい} くん

浜崎町
父・彰さん 母・依保さん
双子なのに性格が正反対な2人です。仲良く育ってください。



山田 心彩^{こころ} ちゃん

川原新町
父・大樹さん
母・孝子さん

いちごにアイス、ごはんが大好きです。元気に育ってね♡



原田 夢叶^{ゆめか} ちゃん

志柿町
父・裕介さん
母・美香さん

たちが上手になったよ。いつも兄ちゃんの後ろをついて行くよ♡



川口 紗也^{さや} ちゃん

本渡町本渡
父・拓也さん
母・真由美さん

いつも笑顔で、元気いっぱい!! 大きな声だって出せるよー。



林 光里^{ひかり} ちゃん

本渡町本渡
父・浩一さん
母・真希さん

いつもニコニコ、力持ちの光里です。元気いっぱい大きくな〜れ♪



松元 魁汰^{かいた} くん

東町
父・和敏さん
母・まきさん

寛人兄ちゃんが好きです!!



松川 鈴奈^{すずな} ちゃん

楠浦町
父・敏史さん
母・里美さん

いつもにこにこ元気! あいかお姉ちゃんに負けないよう育ってね♡



濱崎 明音^{あかね} ちゃん

有明町大浦
父・研吾さん
母・幸美さん

あかり姉ちゃん大好き!! これからもいっぱい遊ぼうね♡



鬼塚 浩誠^{こうせい} くん

楠浦町
父・俊行さん
母・恵子さん

一華姉ちゃん、これからも仲良くしてね!! 大〜好き♡♡

6月で満1歳になるお子さんを募集します!

●応募期限=5月11日⑨まで(必着)。

●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

いま 現代に 息づく 歴史の証

「楠浦の眼鏡橋」(楠浦町)

この橋は、楠浦～宮地往還を結ぶために方原川に架けられたもので、明治11年(1878年)6月11日に起工、同年8月29日に完成しました。発起人である楠浦村庄屋・宗像堅固氏は、江戸時代における楠浦村最後の庄屋役であり、この橋は釜の迫の堀切とともに、宗像氏の遺徳を後世に伝える二大事業の一つとされています。

石材には国指定重要文化財の祇園橋(船之尾町)と同様、下浦石が使用され、石工は下浦の松次、打田の紋次、足場杵組大工は和田



▲美しいアーチを描く
県重要文化財の「楠浦の眼鏡橋」

茂七が携わったといわれています。橋全長26.33m、橋幅3.1mの優美な単一アーチの石橋で、全体的に壁石が薄く、アーチ中央部が輪石のみで構成されているのが特徴です。その姿は当時の美しさを現在もよくとどめており、平成18年に県の重要文化財に指定されました。

地域づくり
コーナー

人が動く
地域が動く
天草が動く

地域財産をいかした活性化への取り組み

一町田地区振興会(宮本春志^{はるし}会長)

河浦町の一町田地区振興会では、コレジオ公園一帯が桜やツツジ、菜の花の美しい三重奏で彩られるこの時期に「二町田さくらまつり」を開催しています。

今後、古楽器を使った演奏会や地域の特色をいかした商品開発にも取り組み、地区内外の人々にさらに見て楽しんでもらえる活動を目指したいと思っています。

昨年、「第1回青少年音楽祭」を行い、子どもたちの演奏会や商工会、地区女性部のバザーのほか河浦高校の生徒による苗物販売でにぎわいました。本年度は、さらにグランドゴルフ大会も実施し、子どもから高齢者まで参加できるような幅広い取り組みに発展しつつあります。また、夏に行われる市の無形民俗文化財「虫追い祭り」では、虫追い旗を使つての演技や競技も行っています。県内外から多くのカメラマンが訪れ、平成19年から実施して



▲青少年音楽祭で演奏する河浦中吹奏楽部

【編集発行】

熊本県天草市役所
総務部秘書課広報広聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



編集後記

人事異動で係に華のような女性
が来ました。いつものようにしゃ
べっていると、不思議そうに私を
見つめます。「何を話しているの
かわかりません？」とのこと。隣
国の人と思ったのでしょうか、ショッ
クでした。もう一度「よくわかる
日本語講座」に挑戦しよう！【凡】

先日行われたWBCで日本が見
事に2連覇を達成。決勝戦でイチ
ロー選手が勝ち越しのヒットを打
ったとき、まるで用意されていた
ドラマのようでした。一方、私は
某ハンバーガー店がキャンペーン
をしているクリアファイル欲しさ
に店へ駆け込む日々でした。【走】

新しいことに対する初めの一歩
を踏み出す瞬間、身体じゅうが大
きな期待と、それ以上の不安を抱
く感覚を久しぶりに味わっていま
す。シンプルさと適度なユーモア
を大事にしながら広報紙づくりに
がんばっていきます。皆さん、ど
うかよろしくお願いいたします。【素】

この編集後記を、まさか自分が
書くことになるとは思っていま
せんでした。でも担当となったか
らには、本庁はもちろん各支所の
広報担当者と一緒に、市民の
皆さんに親しまれる広報紙づくりに
目ざして精一杯がんばります。
どうぞよろしくお願いいたします。【葉】

地域に根ざす 郷土料理

VoL.1
天草町

～さつまいもを使った「せんだご汁」～



天草町では、戦前からさつまいもが
ほとんどの家庭で栽培され、大変貴重
な食べ物でした。さつまいもは色々な
加工品がありますが、天草町では「せ
んだご汁」が郷土料理として継承され
ています。寒い時期に旬の野菜を豊富
に使って煮込んだせんだご汁は、心身
ともにポカポカになり、子どもから高
齢者までとても人気があります。

材 料 (4人分)

さつまいも …… 100g
さつまいもでんぷん … 100g
煮干 …… 適宜
水 …… 4カップ
大根 …… 80g
にんじん …… 40g
白菜 …… 80g
ごぼう …… 60g
干しいたけ …… 2枚
かまぼこ …… 30g
鶏もも肉 …… 60g
油揚げ …… 小1枚
小ねぎ …… 10g
薄口しょうゆ … 大さじ1
塩 …… 少量

作 り 方

- ①さつまいもは皮をむき、ひたひたの水を加えて
ゆでる。やわらかくなったらゆで汁をきり（捨
てずに取り置く）、熱いうちにつぶし、でんぷ
んを加える。ゆで汁でかたさを調節し、耳たぶ
くらいの固さによくこねて、棒状にまとめる。
- ②大根、にんじんはいちょう切り、白菜は3cm
幅のざく切りにする。ごぼうはさがきにして水
にさらす。戻した干しいたけとかまぼこは薄く
切り、ねぎは小口切りにする。鶏もも肉は細か
く切り、油揚げは熱湯をかけて短冊切りにする。
- ③煮干でだしをとり、白菜以外の野菜を加える。煮
立ったら鶏肉、かまぼこ、油揚げを加えて調味する。
- ④野菜が煮えたら①の団子を1cm幅に切って
加える。団子が透き通ってきたら白菜を加え
てひと煮し、火を止める。
- ⑤盛り付けて小ねぎを乗せる。

提供：市食生活改善推進員協議会

市のシンボル



【市の花】
はまぼう



【市の木】
あこうの木



【市の鳥】
かもめ



【市の魚】
鯛

市民憲章

わたしたちは、将来にわたって
夢と希望に満ちあふれた天草市となることを願ひ、
ここに天草市市民憲章を定めます。

- 一 感謝の心をもち、豊かな「しぜん」を守ります
- 一 ふるさとを愛し、誇れる「ひと」を育てます
- 一 恵まれた風土を活かし、「ものづくり」に励みます
- 一 伝統と文化を学び、安らぎのある「まち」を創ります
- 一 世代の調和を大切に、健やかな「和」を広げます